

2016.8.5

## 米国民主党全国大会出席訪米報告

国際局長 藤田 幸久  
国際局副局長 牧山ひろえ

党大会の活動方針に基づき、米国との関係強化を図ってきた中で、同党シンクタンクである NDI (National Democratic Institute) より、国際局長宛てに民進党議員に対する米国民主党大会への招待があった。米国では大統領選挙がある四年に一度しか党大会が開かれず、各級議員、政策決定者、支援者が一同に会する得難い場であり、民進党の政権獲得にとって欠かせない機会であることに鑑み、出席を決定して頂いた。

### 1：日程概要—党大会に20時間出席

7月25日(月) 日本発、ニューヨーク経由、列車でフィラデルフィア着。

18時～19時 NDI主催レセプション

オルブライト元国務長官、カストロ下院議員（日米議員コーカス代表）、  
サム・レンシー党党首（カンボジア）、ロイ・ベトナム共産党対外関係局長など  
と懇談。

19時半～23時 民主党大会 サンダース上院議員、オバマ大統領夫人演説

### 26日(火)

17時～18時 NDI主催レセプション

19時～23時半 民主党大会 クリントン元大統領演説

### 27日(水)

11時半～12時45分 藤田議員はメディアの役割に関する討論会に出席。

ワシントンポスト、NBC、CNN、ロサンゼルスタイムズの記者などが登壇。

13時～15時 牧山議員は「女性リーダーの昼食会議」に出席。

オルブライト元国務長官、フェラーロ元副大統領候補令嬢、ミクリスキ下院議員  
と懇談

17時～18時 NDI主催レセプション

18時 牧山議員はニューヨータイムズのインタビューを受ける

19時～23時半 民主党大会（ラウンジ席）

オバマ大統領、ケイン副大統領候補、バイデン副大統領演説

### 28日(木)

8時 グレン・フクシマ米国先端政策研究所（CAP）上級顧問と朝食懇談

10時～11時半 超党派政治センター主催のエネルギー政策討論会に出席。モリツ  
・エネルギー省長官、電力会社サウザン社のファニング社長に、福島原発事  
故の教訓を生かしたエネルギー政策について質問。

13時～15時 NDI主催午餐会 チャウドリー列国議会同盟（IPU）議長、  
サム・レンシー党党首夫妻（カンボジア）、ケニア国会議員団他と昼食。

18時～24時 民主党大会（ラウンジ席）

ヒラリー・クリントン候補、チエルシー・クリントン（娘）演説。

また、演説したキジ・カーン夫妻（アフガニスタンで戦死したイスラム教徒の米軍兵士の両親）、コネティカット州ハートフォード市のブラウン市長夫妻とラウンジ席で懇談。カーン氏が批判した共和党トランプ候補との応酬はその後も続いている。

## 29日（金）

列車でニューヨークへ。

11時 岡村駐国連大使と懇談

11時40分～13時 海外有権者ネットワークNY竹永代表、ニューヨーク日本人会竹田会長、「週刊ニューヨーク生活」の三浦編集長と在外投票制度の改善についての党の取り組みの報告と今後の取り組みについて意見交換。

ニューヨーク発

30日（土）成田着

## 2 米国政党大会入場券取得は至難の業

米国の政党大会は、各級議員、代議員、関係団体、高額寄付者、NPOなどの有資格者が入場券を確保しており、外国からの参加者を元々想定していない。外国人が入場券を獲得することは極めて至難の業である。2004年に岡田代表などが出席した際も数時間の入場であった。本年自民党なども共和党大会及び民主党大会の入場券取得に関係企業等も含めてアプローチしたが不調に終わり断念したこと。外務省も佐々江駐米大使が他国の外交団とともに、短時間出席したのみのこと。

今回、民進党議員二人は4日連続で入場でき、しかも最も人気の高い最後の二日間はラウンジ席で出席することができた。

## 3 党大会会場の内外；直接民主主義の現場

党大会の会場のウェルズ・ファーゴセンターは2万人以上を収容するスポーツセンター施設。テロに対する警戒から、野球場なども集中しているこの地域一帯の数キロ四方の道路が閉鎖され、ものものしい雰囲気。参加者は電車やバスを遠くで降りて20分以上歩いて会場へ。訪米団も初日の夜はアイルランドの女性副首相と一緒に地下鉄を乗り継ぎホテルに戻った。

センター内の、一步足を踏み外すと転げ落ちそうな急階段状の観客席に席を確保。出席者は、応援演説者毎に異なるプラカードを掲げて熱狂的な声援を送る。

演説者は大統領候補や大統領経験者、上下両院議員などに加え、障害者、薬物使用者、イスラム教者、LGBT者、イラク戦争で戦死した兵士の未亡人などが、政治家の間に次々と

演説し、支持層の広さと、共和党トランプ候補との差別化をアピールしていた。(別紙、演説者リスト参照)

日本の政党大会と異なり、人事、予算、事業計画などの承認事項などは無く、ひたすら様々な立場の代表と出席者、及びメディアを通して国民とのきめ細かな対話を繰り返しており、おのずと国民の参加意識と責任意識を醸成していると感じた。

アメリカの大領選挙は、各政党内の候補者争い、そして二大政党の候補同士による本選挙を通じて、一年がかりで国民と候補者との直接対話をを行う。この間に様々な形で国民の意見を取り入れ、政策形成を行う。このプロセスを通して国民の参加意識が高まる。党大会はその大きな「対話」集会であり、直接民主主義の現場であることを実感した。

#### 4 朝から晩まで党大会関連行事

党大会開催中は、朝7時から党大会が終わる23時頃まで連日様々な政策討論会やシンポジウムが開催される。さらに、大会終了後も、各団体・グループごとの集会もある。これらには次期政権での有力ポストが期待される議員や元政府高官なども出席するので、具体的な政策対話が行われる。訪米団は、これらの関連行事にも出席した。

- ① 超党派政治センター主催のエネルギー政策に関するパネル討論会に出席し、モリツ・エネルギー省長官と電力会社サウザン社のファニング社長に、福島原発事故の教訓を生かしたエネルギー政策について質問した。モリツ長官は日本での原子力規制委員会の設置を評価した。またファニング社長は、福島原発事故直後から経産省や東京電力に協力して様々な支援を行ったことを紹介してくれた。
- ② 牧山議員は「女性リーダーの昼食会議」に出席。オルブライト元国務長官、フェラーロ元副大統領候補令嬢、ミクルスキ下院議員と懇談した。
- ③ 藤田議員はメディアの役割に関する討論会に出席。ワシントンポスト、NBC、CNN、ロサンゼルスタイムズの記者が登壇。政治におけるメディア戦略の重要性を感じた。
- ④ 牧山議員はニューヨータイムズのインタビューを受けた。ヒラリー・クリントンが勝利した場合の影響や民進党の女性政策について聞かれたのに対し、牧山議員は、民進党がクオータ制を掲げていることや非正規労働等で苦しんでいる女性を支援していること、また待機児童問題の解決等、普通の女性の普通の暮らしを応援しているなど、安倍政権の女性政策との違いについて説明した。

#### 5 サンダース人気とトランプ現象

4日間を通じての一番人気はサンダース上院議員である。緑のシャツを着た支持者も最大で、軍関係者が多数登壇し、会場内に「USA、USA」のコールが起きると、「ノーモア・ウォー」のコールで対抗し、TPPが話題になると反TPPのプカードを掲げなどの強い支持が目立った。結局サンダースがヒラリー・クリントンを候補者として指名するという演出を行う一方で、ヒラリー・クリントンやオバマ大統領もサンダースを度々評価するなど、民主党内の融和の演出が目立った。サンダースが訴えてきた格

差や貧困対策、若者の望む政策などを本気で実行していかなければ、ヒラリー・クリントンの勝利は覚束ないかもしれない。

他方、共和党トランプ候補の人気も安定し、白人中間層や貧困層の支持が根強い。工場が閉鎖され廃墟と化した街の失業者、病院が高くて医者にかかる庶民、大学は高額所得者か、奨学金をもらえる最貧層でしか入学できない格差などの社会的な問題と政治の無能さに対する反発と怒りのうねりが既存の政治に向けられている。政策の中身や政治手法は異なれ、サンダースとトランプがその受け皿になっているのは間違いない。

民進党としても、真の国民との対話、国民の悩みや怒りの受け皿となり、それに正面から取り組む覚悟と能力、実行力を持つことが重要であると痛感した。

## **6 在外投票制度改善への取り組み**

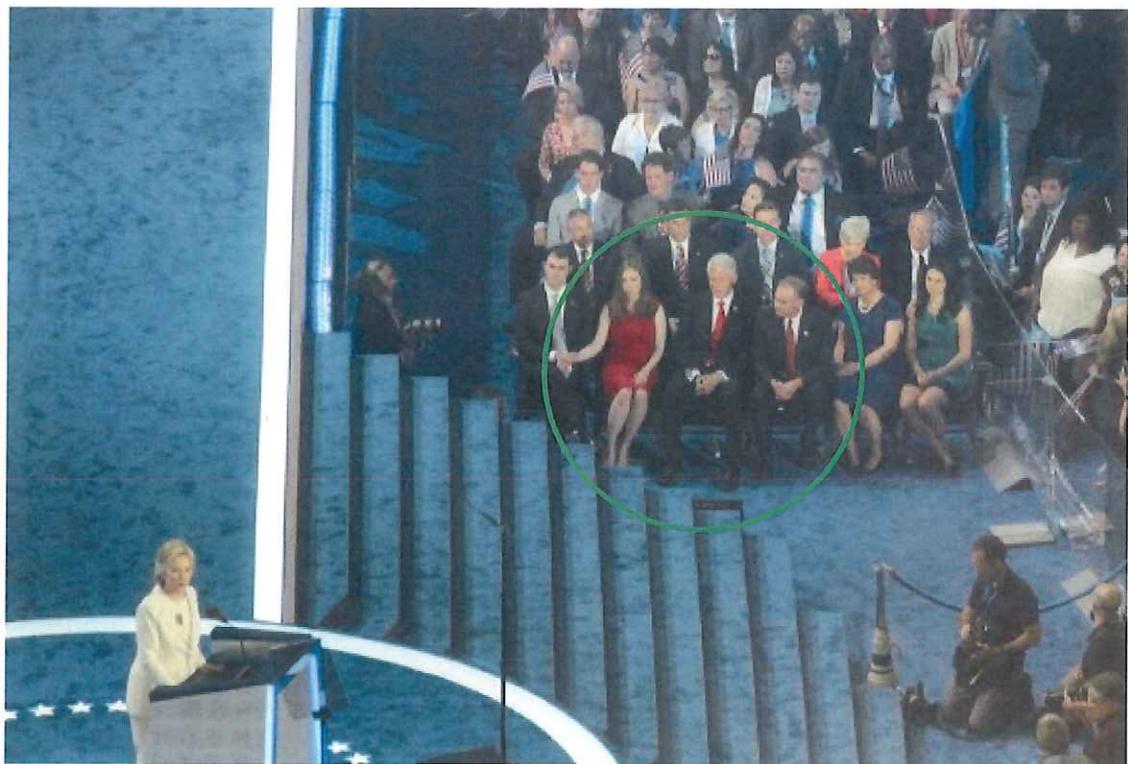
訪米団は、2月、5月に引き続き、ニューヨークで海外有権者ネットワーク NY の竹永代表、ニューヨーク日本人会竹田会長、週刊ニューヨーク生活の三浦編集長と在外投票制度の改善についての党の取り組みを報告した。（総務省や外務省への要望や牧山議員による質問主意書と政府の答弁書による前向きな回答。参議院選挙における海外有権者に対する在外投票の広報活動などの取り組み）今回は参議院選挙直前で進まなかつた課題や議員連盟の活性化を含む対応を進めていくことで意見の一一致を見た。また、彼らの意見を踏まえた上で、関係委員会での質問や質問主意書を更に提出する予定である。

## **7 米国民主党大会出席のための訪米の意義**

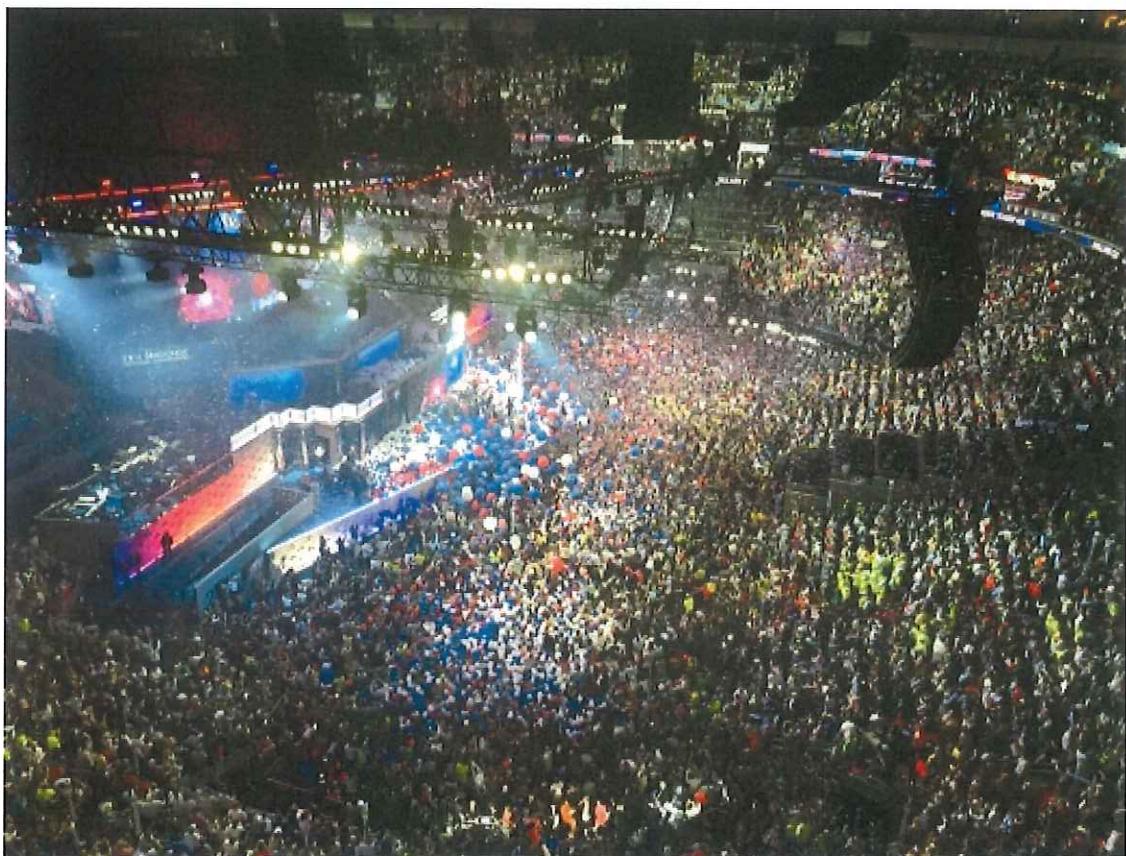
この貴重な大会出席による知見やネットワークを民進党全体として活用し、我が党の党大会のやり方などを含めた支援者との対話や政党活動、政策形成に活かしていきたいと思う。また来年1月の新大統領誕生後の新政権と民進党幹部との交流へと活かしていきたい。

以上

ヒラリー・クリントン大統領候補の演説を聞くビル・クリントン元大統領と娘の切尔西（その左）とケイン副大統領候補（その右）



党大会のフィナーレは天井からの風船の嵐



ラウンジからの応援と撮影



イラク戦争で息子を亡くしたカーン夫妻



チャウンドリー列国議会同盟（IPU）議長・  
サム・レンシー党首夫妻（カンボジア）



モゲリーニEU外交安全保障上級代表と



モリッツ・エネルギー省長官と



電力会社サウザン社のファニング社長と



オルブライト元国務長官=中央



カストロ下院議員と



NYタイムズインタビュー



在外投票に関する懇談会



## 米民主党大会主な演説者

月日	氏名	備考
<b>7月25日（月） 演説者 52名</b>		
応援演説	パム・リヴングウッド	薬物中毒問題
応援演説	カラ・オルティス	国外退去問題
応援演説	アナスタシア・ソモサ	知的・発達障害問題
応援演説	バニー・サンダース	上院議員
応援演説	ミシェル・オバマ	大統領夫人
<b>7月26日（火） 演説者 46名</b>		
応援演説	サディアス・デズモンド	児童擁護問題のソーシャルワーカー
応援演説	ダイナ・ハウバート	障害者権利保護支援弁護士
応援演説	アントン・ムーア	銃による暴力問題支援グループ
応援演説	マデレーン・オルブライト	元国務長官
応援演説	ジェラニ・フリーマン	青少年の非行・虐待問題
応援演説	イーグル・アカデミ一生徒	非行・虐待問題を持つ青少年
応援演説	Mother of the Movement	母親たちの運動
応援演説	ジョー・スウェニー	アメリカ同時多発テロ事件担当刑事
応援演説	ローレン・マニング	アメリカ同時多発テロ事件生存者
応援演説	ライアン・ムーア	医療制度改革
応援演説	ビル・クリントン	元大統領
<b>7月27日（水） 演説者 81名</b>		
応援演説	エリカ・スマギールスキ	銃による暴力防止対策
応援演説	フェリシア・サンダース	銃乱射事件の生存者
応援演説	ジェイミー・ドーフ	イラク戦争軍人の未亡人
応援演説	ジョー・バイデン	副大統領
応援演説	バラク・オバマ	大統領
指名受諾演説	ティム・ケイン	副大統領候補・上院議員
<b>7月28日（木） 演説者 52名</b>		
応援演説	ヘンリエッタ・アイヴィ	介護ヘルパー・賃金問題
応援演説	ベス・マチアス	長時間労働問題
応援演説	ジェンセン・ワルコット	男女間の賃金格差問題
応援演説	ホアキン・カストロ	下院議員
応援演説	キア・カーン	イラク戦争で戦死した兵士の両親
応援演説	チェルシー・クリントン	クリントン候補者 長女
指名受諾演説	ヒラリー・クリントン	大統領候補・前国務長官





